

接続料の算定に関する研究会

～「網機能提供計画」制度の見直しについて～

2018年6月29日

KDDI株式会社

「網機能提供計画」制度の目的

「網機能提供計画」制度の目的は**ボトルネック設備**
(第一種指定電気通信設備) との円滑な接続の確保

接続を前提とした
ネットワークの構築

他事業者の意見
の反映

確保されないと…

過度な網改造料の負担や**接続実現まで長期化の恐れ**
最悪の場合、接続自体が制限される可能性も

⇒ **実質的な参入障壁**に

市場環境等を考慮した見直しの必要性

一方で、将来の競争環境や市場環境等の**変化も考慮した制度見直しも必要**

競争環境

PSTNマイグレーションによる**NGNに対する他事業者の依存性の高まり**

市場環境

IP化による技術革新の進展等による**装置の陳腐化の早期化、頻繁な性能向上等**

健全なサービス競争の確保

- ①利用部門との同等性確保
- ②他事業者への丁寧な対応

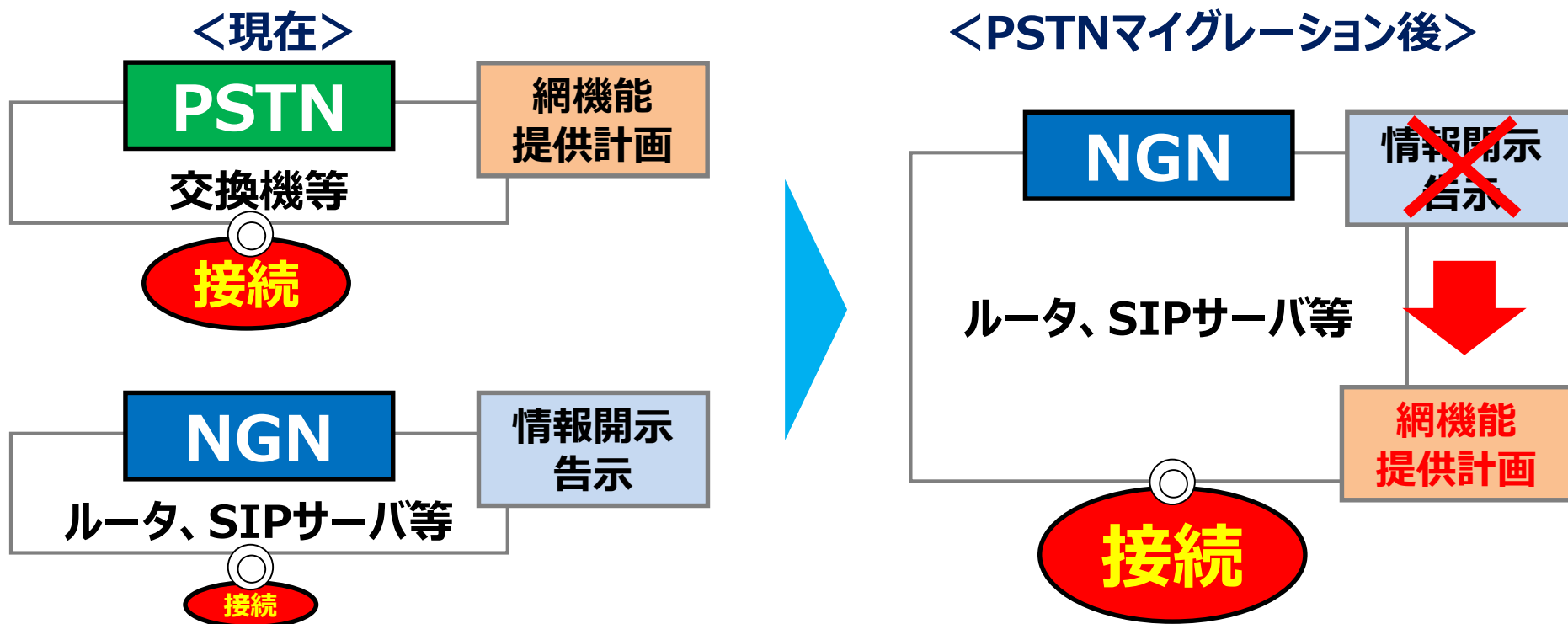
接続機能等の③**タイムリーな提供**



将来の競争環境の変化への対応

原則、全てのルータ、SIPサーバ等を対象とすることで
利用部門との同等性を確保し“接続”での競争が可能に

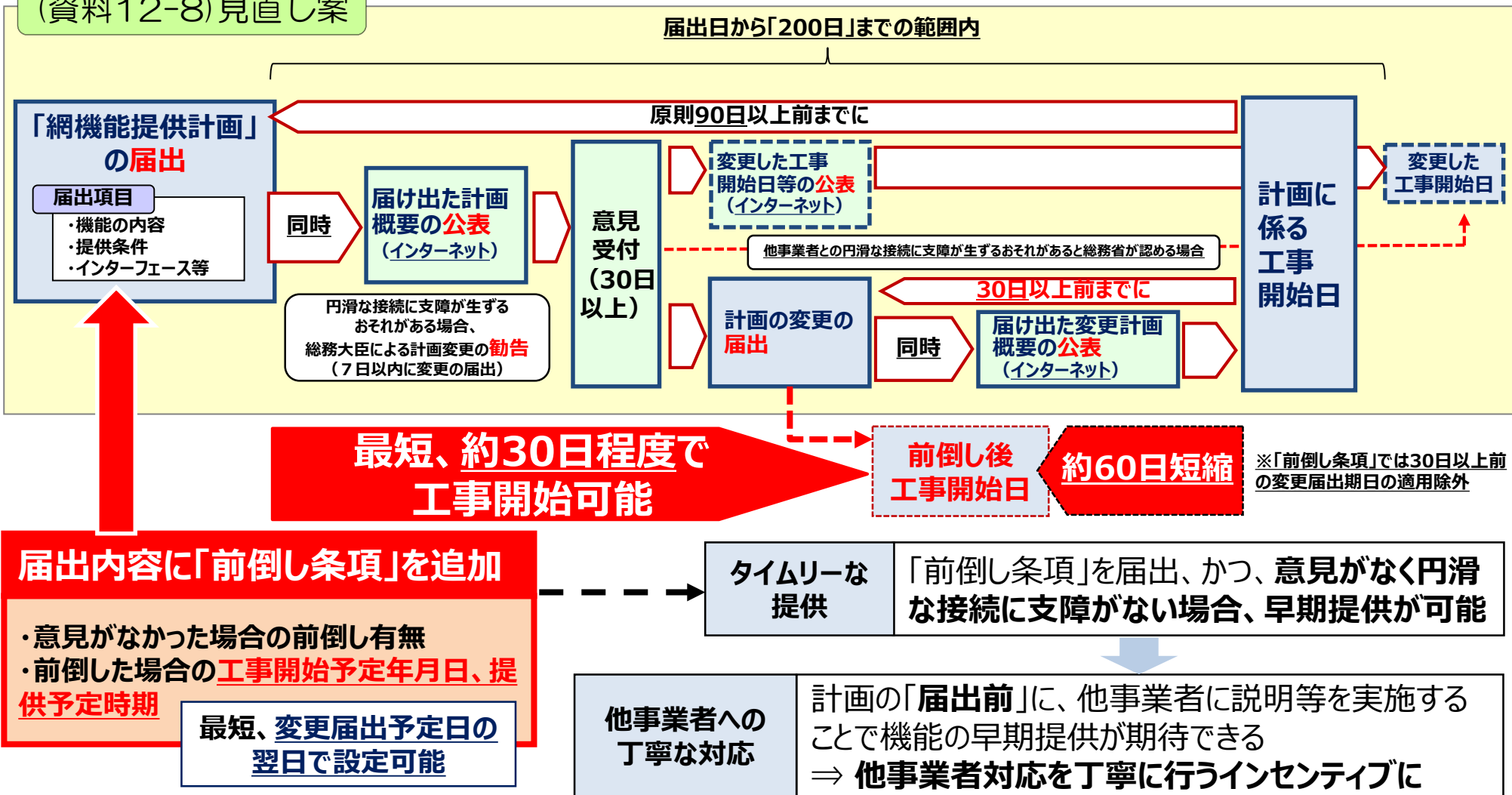
公正な競争環境で多様なサービスを創出



市場環境等への対応（当社からの提案）

加えて、**円滑な接続に支障のない場合は早期提供を可能に**

(資料12-8)見直し案



Designing The Future

KDDI